

三菱自動車『アウトランダーPHEV』が2022年度のPHEVカテゴリ国内販売台数No.1を獲得

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）のクロスオーバーSUV『アウトランダーPHEV』が2022年度の国内販売台数で17,059台^{*1}となり、PHEVカテゴリで2021年度に続き2年連続第1位^{*2}を獲得しました。

また、クロスオーバーSUV『エクリプス クロス PHEV』も4,485台とPHEVカテゴリの第2位を獲得。両車合計で21,544台を販売し、三菱自動車は国内PHEVカテゴリシェアの約54%を占め、2年連続第1位^{*2}となりました。

*1：先代モデルを含む

*2：2022年4月～2023年3月、一般社団法人 日本自動車販売協会連合会調べ



アウトランダーPHEV



エクリプス クロス PHEV

<2022年度販売実績>

モデル	販売台数
アウトランダーPHEV	17,059台
エクリプス クロス PHEV	4,485台
2022年度 PHEV 販売台数合計	21,544台

三菱自動車は1964年から電動車の研究開発を開始し、2009年に世界初の量産電気自動車『アイ・ミーブ』を発売しました。2013年には世界初のSUVタイプのPHEVとして『アウトランダーPHEV』を世に送り出し、2020年には『エクリプス クロス』のPHEVモデルを追加。『アウトランダーPHEV』は世界60カ国以上で累計約33万台を販売し、PHEVカテゴリをリードしてきました。さらに昨年6月には『eKクロスEV』を投入、11月には軽商用EV『ミニキャブ・ミーブ』の販売を再開するなど、今後も電動化技術の活用を通じ、気候変動・エネルギー問題の解決や、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

以上